



計画の期間は、令和4年度（2022年）から
令和8年度（2026年）までの5年間です。

《参考成果指標》

第六次総合計画 指標	内容	令和元年度 現状	令和7年度 目標
子どもの生涯学習 事業参加回数	18歳以下の子ども1人当たりの年間生涯学習事業参加回数（生涯学習センター、公民館、図書館主催）	1. 41回	1. 45回
公民館利用回数	市民1人当たりの年間公民館利用回数（他所で行った公民館事業参加者数を含む）	3. 61回	3. 66回
図書館利用回数	市民1人当たりの年間図書館利用回数	2. 98回	3. 20回



生涯学習ガイドブックも
見てね

本計画は、生涯学習の一つの指向性を示したものです。

実際に学習を具体化していただくのはみなさま方です。

～まずは、これから5年間、この計画をみなさまと共有することを目指します～



大野市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

大野市生涯学習推進計画	
発行年月	令和4年1月
編集所在地	大野市教育委員会事務局 生涯学習・文化財保護課 〒912-0087 大野市城町9番1号 学びの里「めいりん」内 65-5590
メールアドレス	shobun@city.fukui-ono.lg.jp

優しく、賢く、たくましい大野人 くに いきいきわくわく学ぶ 結の故郷

大野市生涯学習推進計画 【概要版】



人生100年時代に対応できる生涯学習社会の実現に向け、市民のみなさまが生涯を通じて学び合い、協力し合い、次代の地域社会を支える人づくりを目指した生涯学習を推進するため、「大野市生涯学習推進計画」を策定しました。



令和4年1月
大野市教育委員会



三つの基本方針と計画実現に向けての取り組み

基本方針1 「ひとづくり」 【地域を担う人づくりを推進します】

《主な取り組み》

ジュニアリーダーを育成、子ども会育成事業を実施

男女共同参画、人権教育を推進

幼児から高齢者までいろいろな本と出会う機会を提供

人材活用事業、むかし語り、市民学校、わくわくお届け講座を開催

パソコンやIoTについての知識が習得できる学習を推進

ボランティアとして活躍する人材育成のための講座や教室を開催

学びで身に付けた知識や技術を広く発信できる指導者の育成

地域の課題解決や地域の活性化のための学習と実践の実施

文化芸術活動の場を提供、文化芸術団体を支援

新しいことを一緒に学びましょう

基本方針2 「つながりづくり」 【地域での交流を深め、支え合いを広げます】

《主な取り組み》

地域課題や住民ニーズ対応の新たな活動の立ち上げを支援

子どもたちに伝えていきたいことがいっぱいあるね

文化芸術活動団体などと連携、市民への学習支援、体験学習の機会拡大

地域の活性化に取り組む青年団体の活動を支援

幼稚園や保育園、小中学校での子育て講座の開催、保護者の交流の場づくり

国際感覚を養うため、外国人や外国の文化に触れる学習を提供

親子や地域の世代間交流のための講座、体験学習の実施

基本方針3 「学ぶ場づくり」 【地域住民が利用しやすい活動拠点を目指します】

《主な取り組み》

学習意欲に応えるための図書館の蔵書や情報機器を充実

生きがいのある人生の構築や職業能力の向上など、人生100年時代に対応した学び直しの機会を提供

生涯学習センター、公民館、図書館の運営方法の工夫による、市民が親しみやすく、仲間・地域づくりができる場を提供

いつでも、どこでも、だれとでも、知らないことが分かるって楽しいね

県内外の大学との連携を深め、より専門的な学びの機会作り

インターネットを活用したニューノーマル対応の学びの機会作り

情報発信の強化で全ての取り組みを支えます

- 生涯学習につながるさまざまな分野の情報を積極的に発信します
- 多様な手段により、年代やライフステージに応じて効果的に情報を発信します
- 企業への生涯学習ガイドブックの活用を案内、指導者登録を依頼します

生涯学習活動の連携

生涯学習センター

- ・学びの情報発信
- ・指導者の育成
- ・学習活動の事例や講師の紹介
- ・全市民対象の講座や講演会の実施

連携

公民館

- ・地区密着型のさまざまな学習活動の実施
- ・地区的伝統文化継承の支援
- ・地域におけるニーズ把握
- ・各館の連携と情報共有



わたしたちができること、みんなできること

いきいきわくわく暮らせるよう、できることから取り組みましょう。



学びに関する情報をチェックします。



気になったことは、ほうっておかずには調べます。



子どもと一緒に学びます。



誰もが学べる環境をみんなで作ります。



学んだことは、みんなで分かち合います。